

2026年度 出力制御見通しについて

2025年12月24日



東京電力パワーグリッド株式会社

【シミュレーションの前提条件】

- 需要および太陽光の出力は、2024年4月～2025年3月の前日想定・実績データを使用
- 太陽光・風力の設備量は、2025年9月末設備量に2025年度供給計画での伸び率を考慮
- 調整電源（火力）の出力は、エリアの需給運用における必要最小限を織り込み
- 非調整電源（火力）の出力は、2024年4月～2025年3月の実績データおよび最低出力を考慮
- 揚水動力は、2026年度補修計画を適用
- 連系線活用量は、2連系線※1の運用容量合計の85%分受電※2とし算定

※1 東北東京間、東京中部間の連系線

※2 低需要時期昼間帯の連系線活用実績に基づき設定



2026年度出力制御見通しの算定結果

<2026年度出力制御見通し>

	出力制御率（制御電力量）[太陽光・風力それぞれの出力制御率]					
	旧ルール		新ルール	無制限・無補償 ルール	制御対象 設備計	全設備
	オフライン	オンライン				
2026年度 見込み	0.127% (827万kWh) 太陽光：0.142% 風力：0.008%	0% (0万kWh) 太陽光：0% 風力：- %	0% (0万kWh) 太陽光：0% 風力：0%	0% (0万kWh) 太陽光：0% 風力：0%	0.061% (827万kWh) 太陽光：0.064% 風力：0.010%	0.029% (827万kWh) 太陽光：0.030% 風力：0.005%
(参考) 2026年度 エリア全体オンライン化	—	0.041% (47万kWh) 太陽光：0.041% 風力：- %	0.039% (189万kWh) 太陽光：0.041% 風力：0.002%	0.034% (56万kWh) 太陽光：0.041% 風力：0.002%	0.022% (291万kWh) 太陽光：0.022% 風力：0.002%	0.010% (291万kWh) 太陽光：0.011% 風力：0.001%

- ※ オンライン代理制御分（オフライン相当の8時間停止に換算した値）を含む
- ※ 出力制御対象外設備を含む総発電量に対する実際の制御量の割合
- ※ 四捨五入の関係で数字が合わない場合あり



【参考】2025年度出力制御見通しの算定結果

4

第4回次世代電力系統WG報告資料(抜粋)

<2025年度出力制御見通し>

	出力制御率（制御電力量）[太陽光・風力それぞれの出力制御率]					
	旧ルール		新ルール	無制限・無補償 ルール	制御対象 設備計	全設備
	オフライン	オンライン				
2025年度 見込み	0.161% (1,123万kWh) 太陽光：0.181% 風力：0.015%	0.009% (8万kWh) 太陽光：0.009% 風力：－%	0.009% (44万kWh) 太陽光：0.009% 風力：0.004%	0.009% (11万kWh) 太陽光：0.009% 風力：0.004%	0.085% (1,186万kWh) 太陽光：0.091% 風力：0.013%	0.042% (1,186万kWh) 太陽光：0.043% 風力：0.013%
(参考) 2025年度 エリア全体オンライン化	－	0.022% (18万kWh) 太陽光：0.022% 風力：－%	0.021% (104万kWh) 太陽光：0.022% 風力：0.007%	0.022% (26万kWh) 太陽光：0.022% 風力：0.007%	0.011% (148万kWh) 太陽光：0.011% 風力：0.001%	0.005% (148万kWh) 太陽光：0.005% 風力：0.001%

※ オンライン代理制御分（オフライン相当の8時間停止に換算した値）を含む

※ 出力制御対象外設備を含む総発電量に対する実際の制御量の割合

<2025年度出力制御見通し(全設備)の内訳>

	実績	見通し	
	4～7月	8～3月	年度合計
全設備	－% (－万kWh) 太陽光：－% 風力：－%	0.065% (1,186万kWh) 太陽光：0.067% 風力：0.019%	0.042% (1,186万kWh) 太陽光：0.043% 風力：0.013%



2026年度出力制御見通しの算定結果

<制御量最大時の需給バランス>

単位：万kW

			2026年5月3日 10～11時 (過去実績にもとづく算定値)
需要			2,492
供給力	火力	調整電源	611
		非調整電源	344
		計	955
	再エネ	太陽光	1,746
		風力	8
		一般水力	154
		地熱	0
		バイオマス	53
		計	1,961
	原子力		0
	揚水式水力・蓄電池		▲762
	連系線活用		412
	再エネ出力制御		▲74
	供給力計		2,492



太陽光・風力のオンライン化率（2025年9月末時点）

6

○ 現在のオンライン化状況は以下のとおり。オンライン化の進展により、再エネ出力制御量を小さくできる可能性があることから、今後もオンライン化の推奨を継続する。

＜東京エリアにおけるオンライン化の状況＞

単位：万kW、%

		2025年9月末時点	2025年3月末時点
太陽光	① オンライン化率 $((②+④)/(②+③+④))$	55.2	52.4
	② 新・無制限無補償ルール、オンライン事業者	469.3	453.6
	③ 旧ルール、オフライン事業者	453.5	469.7
	④ オンライン制御可能な旧ルール事業者	89.6	63.9
	⑤ 旧ルール事業者のオンライン切替率 $(④/(③+④))$	16.5	12.0
風力	⑥ オンライン化率 $((⑦+⑨)/(⑦+⑧+⑨))$	41.2	19.5
	⑦ 新・無制限無補償ルール、オンライン事業者	28.6	9.5
	⑧ 旧ルール、オフライン事業者	39.4	39.4
	⑨ オンライン制御可能な旧ルール事業者	0.0	0.0
	⑩ 旧ルール事業者のオンライン切替率 $(⑨/(⑧+⑨))$	0.0	0.0

※ 「旧ルール高圧500kW以上・特別高圧の事業者、新ルール・無制限無補償ルール事業者（太陽光は10kW以上）」について算定



再エネの導入状況（2025年9月末時点）

- 2025年9月末時点での太陽光・風力設備量の連系量は2,216万kWとなった。
- 至近年では年100万kW程度のペースで増加している。

連系設備量
万kW

